

## 「自動車塗装に見るものづくりのチカラ ～提案から実現へ～」

主催 日本塗装技術協会

協賛 日本化学会、色材協会、日本塗料工業会、日本防錆技術協会、表面技術協会、日本自動車車体工業会、高分子学会  
日本塗装機械工業会、日本工業塗装協同組合連合会、日本塗装工業会、日本塗料検査協会、自動車技術会、  
材料技術研究協会、静電気学会、日本印刷学会、日本金属学会、日本建築学会、国際工業塗装高度化推進会議  
日本建築士上学会、日本粉体工業技術協会、日本レオロジー学会、腐食防食学会、日本油化学会、粉体工学会（予定）

要旨 毎年この時期の講演会では自動車関連の話題にフォーカスし、ご好評をいただいております。今回は意匠のデザインから実現するプロセス、そして製品として維持することまで考えていただきたいと思い企画を致しました。我が国のものづくりの環境は厳しさを増し、国内マーケットは縮み新興国への生産移管も止まらない状況にあります。このような状況下でも世界中に通用する価値こそ日本の企業の創り出す「チカラ」ではないでしょうか。ものづくりを継続する礎となる提案の力、実現に至る強い意思、品質維持のために必要な要素を捉え管理するツール、まとめ上げて実現に移す叡智、知見を整理し体系化した処方箋の作り方。通してお聴きになることで皆様のブレイクスルーのきっかけになることを願います。

日本塗装技術協会 セミナー委員会 実行委員長 若井 宏平（株式会社クリイノ創研）

期日：平成30年2月16日（金）10：30～16：50

会場：日本ペイントホールディングス株式会社 東京事業所 センタービルAホール（東京都品川区南品川4-1-15）

10:30～10:45		開会の挨拶とガイダンス 日本塗装技術協会 セミナー委員会	
No.	時間	演題及び講師	アウトライン
1	10:50 ～ 11:30	「私達が考えるべき これからのCMFデザイン価値」 日本インダストリアルデザイナー協会 /株式会社 FEEL GOOD CREATION 玉井美由紀	これからは自らが考え提案する時代。CMF デザインという概念と技術の融合で「日本のものづくりを活性化する」という私達の活動を通じ感じている、これからのデザインと技術の方向性とは？
2	11:35 ～ 12:35	「ブランド価値向上に向けた、 独自のカラーデザイン戦略」 ～デザイナーと技術者の共創で生まれた 新たな価値創り～ マツダ株式会社 デザイン本部 クリエイティブデザインエキスパート 岡本 圭一	マツダは2010年以降、“魂動デザイン”という哲学の元、すべての商品に統一したデザイン性を持たせる独自のブランド戦略を進めてきています。その中で、カラーもブランドの重要な要素として位置付け開発を行っており、今回そうした開発の実例をベースに紹介したいと思います。
昼食休憩（50分間）			
3	13:25 ～ 14:05	「カラーアピアランス測定可能な、多角度分光測色計 のご紹介(MA-Tシリーズ)」 ビデオジェット・エクスライト株式会社 エクスライト社 カラー&アピアランス テクニカルアカウントマネージャー 下平 洋一	意匠性に富んだ近年の自動車塗装を評価する目的で、新型のポータブル多角度分光測色計が開発された。本機は従来の多角度による測色機能に加え、多角度光源とRGBカメラによるカラーアピアランス測定を可能とした特徴がある。本機の説明とサンプル評価について解説する。
4	14:10 ～ 14:50	「自動車塗装に有用な測色及び外観評価と デジタルカラーマネジメント」 ユニカムノルタ株式会社 産業光学システム事業本部 瀬戸口 知巳 向井 隆晋	自動車塗装に用いられるメタリック塗装・パール塗装に着目し、色・光沢・DOI(像鮮明度、写像性、ゆず肌)・反射ヘイズ等における評価方法を解説すると共に、測定器を活用したデジタルカラーマネジメントの可能性に触れる。
5	14:55 ～ 15:35	「高彩度・高コントラストカラーを実現する 自動車塗料の適用開発」 日産自動車株式会社 車体技術開発部 塗装・防錆・車体材料技術開発グループ 筒井 宏典	自動車のカラートレンドをみると、高彩度で且つ陰影が強いカラーが増えてきている。このような塗色はカラークリアやカラーベース塗膜を工夫することで実現されている。今回、カラークリアと高彩度カラーアルミフレックの適用技術について報告する。
休憩（15分間）			
6	15:50 ～ 16:50	「自動車防錆における市場トレンド」 トヨタ自動車株式会社 有機材料技術部 防錆技術室 室長 大河内 智	自動車に対する耐食性向上ニーズの歴史や、欧州・中国を中心とした防錆材料に対する環境規制動向(六価クロム、コバルト塩、ニッケル等)について解説する。また、それらに対応する防錆材料の開発動向や、耐食性評価方法のトレンドについて紹介する。

17:00～18:00 交流会（名刺交換会） 於：2階 食堂

講師、講演会参加者、セミナー委員（講師の方が都合により参加頂けない場合もありますので、予めご了承下さい。）

\* 当日講演会での撮影、録音等は固くお断りいたします。

プログラムはホームページ <http://jcot.gr.jp/> でもご覧いただけます。また、申し込み書もダウンロードできますので、メールに添付してお申し込みください。（E-mail tosou-jimukyoku@jcot.gr.jp）

**参加要領**

参加費 : 主催、協賛学協会会員 16,200 円、非会員 21,600 円、学生参加者 3,240 円  
お申し込み受け付け次第、参加証と請求書をお届けします。

**「満席となり申込を締切の場合もございますので、お早目の申込をお願い致します。」**

参加費は下記宛にお振り込み下さい。

交流会 (名刺交換会) : 講演終了後に講演会会場 2 階食堂に於いて開催します (無料)。

申込方法 : 下記申込書にご記入の上、下記申込先に送付下さい。 (FAX も可です。)

申込先 : 日本塗装技術協会 事務局 〒162-0805 東京都新宿区矢来町 3 番地

TEL/FAX : 03-6228-1711 E-mail : [tosou-jimukyoku@jcot.gr.jp](mailto:tosou-jimukyoku@jcot.gr.jp)

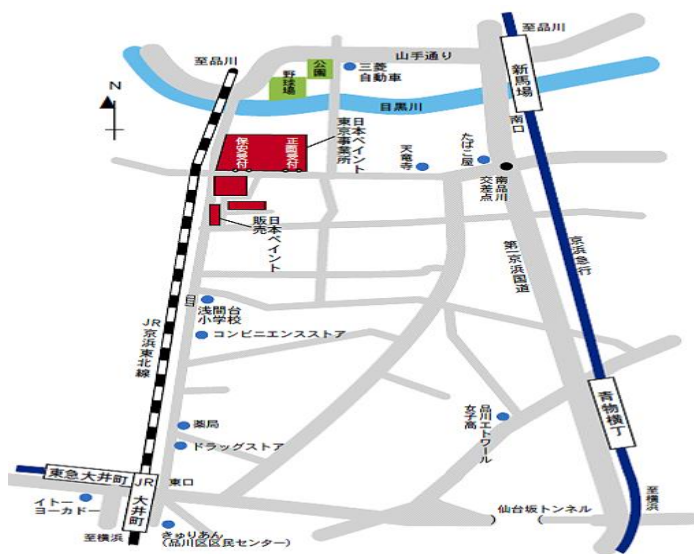
振込先 : 郵便振替 00110-9-77544 名義 日本塗装技術協会 (できるだけ郵便振替にてお願い致します。)

銀行振込 三菱東京 UFJ 銀行大伝馬町支店 普通口座 4486552 名義 日本塗装技術協会

銀行振込 三井住友銀行人形町支店 普通口座 384641 名義 日本塗装技術協会

会場 : 日本ペイントホールディングス株式会社 東京事業所 センタービルAホール

(東京都品川区南品川 4-1-15)



- \* 左案内図をご参照下さい。
- \* お車でのご来場はご遠慮下さい。

JR 京浜東北線「大井町駅」東口より徒歩 10 分  
京浜急行「新馬場駅」南口より徒歩 5 分

<http://www.nipponpaint.co.jp/img/abt/tokyo.pdf>

切り取り線

平成 29 年度第 3 回講演会 申込書

**「自動車塗装に見る ものづくりのチカラ ～提案から実現へ～」**

日本塗装技術協会 御中  
(FAX: 03-6228-1711)

月 日

貴社名				氏名		
所属						
所在地	〒				TEL	
	E-mail:				FAX	
会員の別 (○で囲む)	当協会会員 16,200 円 非会員 21,600 円	協賛会員 16,200 円 学生 3,240 円	(学協会名 : )			
交流会 (参加希望者は ☑ください)	<input type="checkbox"/> 参加 (交流会には本申込書による参加登録が必要です。)					

複数ご参加の場合はメモ欄に所属、氏名を追記ください。一括でご請求させていただきます。  
連絡メモ

\*ご登録いただいた個人を特定できる情報は日本塗装技術協会が厳重に保管し、ご提供者本人の許可なく第三者に公開することはありません。